

環 境 報 告 書

令和 7 年 1 2 月報告

ふりがな	まつもとどけんかぶしきがいしゃ			認定 ランク	☆☆☆
事業所名	松 本 土 建 株 式 会 社				
概 要	所 在 地	長野県松本市大字島立 635 番地 1			
	代 表 者 名	大池 太士			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	事業内容 総合建設業（土木・建築工事） 不動産取引業（不動産賃貸・売買） 指定管理事業（長野県及び松本市の施設管理運営） 太陽光発電事業（ソーラーファーム空港西発電所） 従業員数 118 名（男性：103 名 女性：15 名）			
	担 当 者	所属	土木営業部	氏名	高山 匡弘
	連 絡 先	電話	0263-47-9302	FAX	0263-48-5544

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	(別紙 1 参照)
環境に関する取組目標	(別紙 2 参照)

具体的な取組内容	1. 省エネルギーの推進 ① クールビズ・ウォームビズの実施 ② 空調の設置温度を冷房時 28 度・暖房時 18 度とし適正化を実施 ③ 就業前及び昼休み時については、照明電気を消して節電を実施 ④ 社屋の照明器具を順次、LED照明に変更している ⑤ 計画的にエネルギーを減量できている（別紙 2 参照） 2. エコなエネルギー利用 ① 引き続き太陽光発電所の運営 3. 自動車利用の抑制・効率化 ① 従業員に対するエコ通勤の啓発活動の実施 ② 自動車の燃費を管理し改善している（別紙 2 参照） ③ 次世代自動車の導入実施 （全車両台数 95 台 次世代自動車数 18 台 導入率 19%） 4. ごみの発生抑止 ① 簡易包装の実施 ② 従業員に対する買い物袋持参を促す啓発活動の実施 5. ごみ減量の推進 ① ごみ減量計画書を作成し従業員に周知啓発の実施 ② ごみ量を把握できている（別紙 2 参照） 6. 食品ロスの削減 ① 30・10 運動の実施（「残さず食べよう！」推進事業所登録） （別紙 3） ② 社内での啓発活動の実施（ポスター） 7. リサイクルの推進 ① 両面印刷や裏紙の利用で紙の使用量削減を実施 ② 社内文書を電子化し、紙の削減を実施している 8. グリーン購入の推進 ① 積極的にグリーン購入製品の使用を実施 ② 会社全体で購入する製品の内、グリーン購入製品が 7 割以上になっている（別紙 4 参照）
-----------------	--

	9. 地産地消の推進 ① 引き続き農林業活動への支援の実施（分収育林） 10. 廃棄物の適正処理 ① 一般廃棄物処理は専門会社へ依頼し産業廃棄物についてはマニフェストを運用し保管、管理を実施している ② 引き続き自社から出る廃棄物の種類を把握し、従業員に対して処理方法の周知を実施している 11. 自然環境の保護 ① 自然や生物多様性に配慮して施工している（別紙 5 参照） 12. 生物多様性の確保 ① ボランティア活動による外来植物駆除を実施している （令和 7 年 7 月 21 日実施 別紙 6 参照） 13. 自然とのふれあいの促進 ① 自社の人材で自然観察会を実施している （令和 7 年 6 月 7 日実施 別紙 7 参照） 14. 緑化の推進 ① 花いっぱい運動（花守の会）を実施して参加をしている （令和 6 年実施 別紙 8 参照） 15. 美化の推進 ① 会社周辺のごみ拾いを毎朝、実施している 16. 水辺の保全 ① 河川整備を実施している （令和 7 年 3 月実施 別紙 9 参照） 17. 教育環境の実施 ① 地元の高校生の現場見学会の中で環境教育を実施している （令和 6 年 8 月実施 別紙 10 参照）
--	---

実施結果（成果）	● エネルギーの削減 ① 電気使用量及びガソリン使用量については対目標比率が合格には入っているが目標値を上回った ● 自動車利用の効率化 ① 燃費改善については対目標比率 99.47%と目標を下回った ② 次世代自動車の導入は今後さらに進めていきたい ● ごみの減量 ① 一般廃棄物の削減は対目標比率が上回った排出量になってしまった ● グリーン購入の推進 ① グリーン製品購入の推進は 70.6%と対目標比率を上回る成果であった その他の項目についてはボランティア活動による外来種駆除であったり、地元の高校生に環境教育を行ったりと、社員一人一人が今まで以上に環境であったりエコ活動への積極的な参加など意識が向上していると感じています
課題・問題点と その改善に向けた取組み	社員の環境に対する意識向上で概ね目標を達成できた。 今以上に節電機能の高い設備の導入を引き続き検討したい。又、ガソリン使用量については、遠方の工事受注などが多い年などは、なかなかガソリンの使用量が減少しない為、エコドライブの徹底、通勤のためのカーシェアリング、次世代自動車の導入等を検討したい。
その他、 アピールポイント等	当社経営理念でもある「誇りある企業として地域社会に貢献し、もって全ての人たちの幸せの実現に寄与する。」を念頭に、社員一人一人が身近な環境問題（ごみの削減、エネルギーの削減 等）に取り組んでいく中で、自然環境の改善、更には地球環境が少しでも良くなっていくような企業を目指し今後も活動を継続していきたい。

【松本土建株式会社 環境方針】

松本土建株式会社は地域密着企業として、「人と自然の共存」をモットーに、当社の企業活動が長野県の自然環境、更には地球環境と深く関連していることを認識し、持続可能な循環型社会形成のため、環境問題に対する自主的な取り組みと、その継続的な改善を経営の重大な課題の一つと位置付けています。

1. 当社は、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を設定し、環境保全活動を推進し、汚染の予防に努めます。
 - (1) 営業段階において
 - ・顧客の環境要求事項の確認に努めます。
 - ・当社の環境関連情報の伝達に努めます。
 - (2) 設計段階において
 - ・環境に関する提案活動に努めます。
 - (3) 施工段階において
 - ・建設副産物の再資源化に努めます。
 - ・工事周辺環境の保全に努めます。
 - (4) オフィス業務において
 - ・エネルギーの削減に努めます。
 - ・資源消費の抑制に努めます。
2. 環境関連の法規制、業界の行動規範および社内自主基準などを遵守します。
3. 環境教育、広報活動などにより全従業員の環境方針の周知徹底と環境保全の意識向上に努めます。
4. 協力会社に環境保全への積極的な理解と協力を求め、支援に努めます。

2016年11月14日

松本土建株式会社
代表取締役 大池太士

環境目標値

項目	単位	実績値				平均値	目標値
		78期	79期	80期	81期		
エネルギーの削減							
電力使用量	kw	117,186	111,124	111,369	111,357	112,759.00	112,759 以下
ガソリン使用量	ℓ	52,186.92	46,967.42	50,054.40	50,021.79	49,807.63	49,807.63以下
軽油使用量	ℓ	11,791.25	14,943.96	13,067.14	12,968.67	13,192.76	13,192.76以下
水道水使用量	m ³	464.00	429.00	466.00	430.00	447.25	447.25以下
自動車利用の効率化							
自動車の燃費改善	km/l	12.91	13.28	13.32	13.79	13.33	13.33以上
次世代自動車の導入	%	19.39	19.39	19.00	19.00	—	10%以上
ごみの減量							
一般廃棄物の削減	kg	3,107.70	3,266.10	3,264.10	3,274.40	3,228.08	3,228.08以下
グリーン購入の推進							
グリーン製品購入の推進	%	76.5	71.5	72.2	70.1	—	70%以上

※平均値及び目標値は小数点第3四捨五入

※目標値については78期(令和2年6月1日～令和3年5月31日)79期(令和3年6月1日
80期(令和4年6月1日～令和5年5月31日)、81期(令和5年6月1日～令和6年5月31日)、
～令和4年5月31日)、の平均値とし、対目標比率を±2%までは合格とする。
(ただし、次世代自動車の導入率及びグリーン製品購入率は目標値以上とする。)

環境実績値

項目	単位	目標値	82期	対目標比率	判定
エネルギーの削減					
電力使用量	kw	112,759 以下	114,611.00	101.64%	○
ガソリン使用量	ℓ	49,807.63以下	50,306.78	101.00%	○
軽油使用量	ℓ	13,192.76以下	13,176.74	99.88%	○
水道水使用量	m ³	447.25以下	420.00	93.90%	○
自動車利用の効率化					
自動車の燃費改善	km/l	13.33以上	13.26	99.47%	○
次世代自動車の導入	%	10%以上		—	○
ごみの減量					
一般廃棄物の削減	kg	3,228.08以下	3,265.00	101.14%	○
グリーン購入の推進					
グリーン製品購入の推進	%	70%以上	70.60%	—	○

※82期(令和6年6月1日～令和7年5月31日)

(別紙 2)

～すすめよう！30・10運動～

認定番号 事-第001号

認 定 証

「残さず食べよう！」推進事業所

松本土建株式会社 様

貴事業所は、食品ロス削減の取組みを推進し、
環境に配慮していると認められるため、松本市「残
さず食べよう！」推進事業所として認定します。

<取組内容>

○残さず食べよう！30・10運動の実践

○残さず食べよう！30・10運動等について

の事業所内における周知又は啓発



平成28年 8月29日

松本市長 菅 谷 昭

事務用品集計表

購入期	購入数	グリーン商品 購入数	購入率(%)
74期 H28.6 ~ H29.5	429	309	72.0%
75期 H29.6 ~ H30.5	501	352	70.2%
76期 H30.6 ~ R1.5	616	437	70.9%
77期 R1.6 ~ R2.5	698	490	70.2%
78期 R2.6 ~ R3.5	799	612	76.5%
79期 R3.6 ~ R4.5	507	363	71.5%
80期 R4.6 ~ R5.5	835	603	72.2%
81期 R5.6 ~ R6.5	609	427	70.1%
82期 R6.6 ~ R7.5	771	545	70.6%

創意工夫・社会性等に関する実施状況 説明資料

工事名	令和4年度 3 災公共土木施設災害復旧・国補道路メンテナンス(橋梁)合冊工事		番号	9
項目	社会性等	評価内容	地域への貢献等	
実施内容	魚類増殖事業協力			
(説 明) 本施工の瀬替えに於いて、河道掘削による土砂が流出することで水質や透明度が低下し、魚類や水生昆虫への悪影響が懸念された為、漁業組合の方々と協力し、魚を放流し増殖事業に貢献した。釣り人から大変好評を頂いた。				
(添付図)				
				
【イワナ】		【イワナ】		
				
【魚放流】		【魚放流】		

作業所における生物多様性対策の実施について

高ボッチ高原の外来植物駆除

1. 生物多様性対策の実施

ボランティア団体・市自然保護ボランティアとともに7月21日、市郊外の高ボッチ高原で外来植物を駆除する環境美化の催し「みんなで守ろう高ボッチ高原の自然」に2名が参加しました。「海の日」の恒例の催しで、市内41企業・団体と個人が参加し汗を流しました。



草競馬場そばの第1駐車場から管理棟・でいだらボッチ館がある第2駐車場までの直線距離で約1キロの間の草地を歩き、外来種のヒメジョオンやハルジオンほか、最近増えているシロツメクサも駆除しました。



令和7年度松本市アルプス公園自主事業計画承認申請書

令和7年 5月24日

松本市長 臥雲 義尚 様

長野県松本市大字島立635-1

株式会社TOYBOX

代表取締役 大池 太士



松本市アルプス公園において、下記の通り自主事業を行いたいのので承認願います。

記

1. 事業名	春の自然観察会
2. 目的	①身近な自然に触れ合い親しんで頂く。 ②ボランティア活動やフィールドワークを通じて、公園についての理解・認識を深めて頂く。
3. 実施日	6月7日(土)
4. 実施場所	アルプス公園 森の入口広場より東側
5. 実施主体	自然観察の会ひこばえ、株式会社TOYBOX
6. 対象者	自然観察の会ひこばえ会員、一般参加者
7. 参加料徴収の有無	無

以上

自主事業報告書

事業名	春の自然観察会
実施時期	令和7年6月7日
実施場所	森の入口広場～森の里広場
実施主体	主催：自然観察の会ひこばえ、(株) TOYBOX
事業の趣旨、内容	趣旨：季節ごとの里山の様子をより多くの方に楽しんでもらい、公園に親んでもらう。 内容：公園内を散策し、そこで見つけた生き物や植物の観察を行う。
対象者、参加人数	自然観察の会ひこばえ会員および事前申込者 11人
参加料徴収の有無、金額	無し
実施状況	希少種のサイハイランを見つけることができ、自然活用委員会のプロジェクトとしても有意義な観察会となった。





令和6年5月24日
花守の会 実施状況



令和6年7月26日
花守の会 実施状況



令和6年10月11日
花守の会 実施状況

創意工夫・社会性等に関する実施状況

工 事 名	令和6年度千曲川松本管内維持工事		8			
項 目	社会性等	評価内容	地域への貢献等			
提案内容	白鳥湖周辺の整備					
(説明) 【目的】 ・白鳥湖は毎年シーズンになると多くの人が白鳥の渡来を見に来ますが、餌やり場所周辺が増水時の洗掘などにより勾配が急になり、人が踏み入る際に転倒する可能性が考えられた。 【実施内容】 ・餌やり場周辺を重機で整地した。 【結果】 ・整地をしたことで、勾配が緩やかになり白鳥を餌やりをしに来た方が安全して立入ることができるようになったと思われる						
(添付図) 作業前  整地状況  完了 						

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別葉とする

工 事 名	R4国道18号坂城更埴BP塩崎地区改良15工事			8
項 目	創意工夫	評価内容	地域への貢献等	
提案内容	現場環境の周辺地域との調和			

(説明) 安全協議会での地元住民への活動

国道18号坂城更埴BP安全協議会として、地元の小学生に対し現場見学会を開催した。又、2ヶ月に1回地元住民に回覧している『工事だより』を安全協議会で協同し、地元住民の理解と関心をもってもらうよう活動した。

(添付図)

塩崎小学校の現場見学会

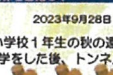


地元小学生を対象にした視覚見学会を開催
 ～建設業界の次世代の担い手育成・確保を目指し～

工事現場のトンネル内を探検しよう！

坂城更道BP（3工区）安全協議会では、長野市道峠小学校1年生の秋の遠足の道中に視覚見学会を開催しました。普段入ることできない工事現場のトンネル内の見学をした後、トンネル工事の様子について説明させていただきました。

2023年9月28日（木）長野市立道峠小学校1年生 32名参加



ライトもって探検！
 足元照は、ヘルメットも使用し、ライトでトンネル内部の様子を確認します。

トンネル内は暗いので、ヘルメットかいい照明が必要でした。

作業からの感想
 ・ヘルメットトンネルを走る作業にとてもおもしろい！
 ・いい道場が完成するのが嬉しい！
 ・トンネルの生活環境について勉強したい！
 ・トンネルの生活環境について勉強したい！
 ・トンネルの生活環境について勉強したい！

見学者 株式会社 鹿熊組

代表取締役 松本建雄様

安全に協力して、工事を進めて参ります！

坂城更道BP安全協議会

[illegible]

工事だより

2016年10月10日発行

筑波大学を舞台にしにしました！

本日は、筑波大学で「新築校舎の完成式」が行われました。本校が新築校舎に協力したことが、本校の歴史の中で初めてのことです。本校が新築校舎に協力したことは、本校の歴史の中で初めてのことです。本校が新築校舎に協力したことは、本校の歴史の中で初めてのことです。




新築校舎の完成式



GPSによる盛土の精度の管理システム

本校の一歩、建設現場で盛土作業を行う際の精度を管理するシステムを導入しました。このシステムは、GPSを利用して盛土の精度をリアルタイムで監視し、管理することができます。これにより、盛土の精度を向上させ、コストを削減することができます。